

代表質問・一般質問通告一覧表 （発言順）

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
9/9 (火)	新政 成田芳律	1. 鈴木市長による 行政運営 2. 財政運営 3. 庁舎整備	鈴木市長は、2022年2月28日の初登庁以降、四街道市の市政運営に尽力され、早いもので3年半が経過した。今任期も残すところ半年となった。そこで、山積する課題解決に向けて取り組んできた鈴木市長に対し、以下伺う。 ① 初登庁から変わらず意識してきたことは何か。 ② 市長に就任して改めて感じた課題は何か。 ③ 達成できたと感じている点は何か。 ④ 未だ道半ばと感じている点は何か。 四街道市の財政運営は、決して悪いものではないが、予断を許さなく、かつ次期ごみ処理施設関係を考慮すると、一層限られた財源を有効活用する必要がある。そこで以下伺う。 ① 市は毎年8月に次年度予算編成方針を依命通達として発出している。ここでは国の動向を踏まえ、また市の財政状況を明らかにした上で、各所属における予算に関する事項を通達している。そこで通告書提出時点で予算編成方針を発出していない、又はウェブ上で確認ができないが、それはなぜか伺う。 ② 次年度予算編成に向けた考え方や特筆すべき事項があれば伺う。 庁舎建設においては2期工事における解体工事が予定通り終了したところである。住民サービス及び防災の拠点が無事に完了することが望まれるが、利便性や動線の再検討を行い、多目的スペースとイートインコーナーの配置を入れ替え、ラウンジと一体的な利用ができるよう計画を変更する旨の発表がなされたため、以下伺う。 ① 全体として工期に変更はないか。 ② 多目的スペースとイートインコーナーの配置を入れ替えするとの事であるが、その理由はなにか。 ③ 入れ替えを行うことに伴い、多目的スペースの利用に影響はないと考えてよろしいか。また執務環境に影響はないか。 ④ イートインスペースについて、提供される食事類はどのようなになる予定か。 ⑤ 環境と調和した庁舎として運用していると認識しているが、状況はいかがか。

月 日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	4. 不法ヤード対策 5. 生活道路整備 6. 子どもに対する 環境整備	良好な住環境を保持するためには、ヤードが適正に管理されているかは重要な課題である。そこで、以下伺う。 ① 現状のパトロール体制 ② 市が把握しているヤード数 ③ 指導を行っているヤード数と現況 ④ 許認可に至っていないが現況あるヤード数 市民の日常生活と行政との関わりとして、生活道路整備が挙げられる。 また、市民からの要望件数も多い状況であり、予算の制約があるなか、優先順位を付けて対応をしていると認識はしているところでもある。 しかし、道路交通法の改正や、今までの連絡票からの対応状況から勘案すると、今まで以上に補修修繕や、改修要望も上がると推察される。 そこで以下伺う。 ① 市道に関する要望件数及び対応状況 ② 道路付帯設備に関する要望件数及び対応状況 ③ 自転車通行の罰則化に伴う安全な道路環境整備に向けた取り組み状況 当市では、子どもたちを真ん中という理念のもと、きれめのない環境整備の充実を図っているところである。この流れを更に推進すべく、以下伺う。 ① 産前産後ケア (1)マイナポータルとの連携によりデジタル化が進んでいるところであるが、対面での面接が効果のある点を考慮しつつ、申請に対する一層のデジタル化による保護者の負担軽減策の検討状況はいかがか。 (2)各種申請様式において、PDF ファイルの印刷から直筆での記入を求めることが多岐にわたるが、簡素な入力により、負担軽減が図られる書類はないか。 ② 就学前 (1)保育教育施設入所・入園判定に伴う事務に対しての RPA の検討状況はいかがか。 (2)市内保育園等全園会議の実施状況はいかがか。

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き		③ 就学後 (1)学力向上に向けた取り組み状況 (2)学習支援ソフト又はアプリの導入検討状況 (3)教職員の負担軽減策及び ICT 利活用状況 (4)小学校適正規模・適正配置あり方検討委員会の状況 ④ 小1の壁対策 子どもが小学校に通い始めたときに、特に保育園に預けていた時にはできていた仕事と子育ての両立が難しくなる。保護者の出勤時間と登校時間のずれが生じることに對し、働き方の見直し、職場復帰への悩みを抱える保護者の声やニーズをどのように把握していくのかが必要である。こども家庭庁は令和6年5月全国の市区町村に對し、こどもの朝の居場所に関する調査を実施しているが、これらの現状と、教職員の負担軽減を踏まえ、本市の見解と今後の取り組み状況。 ⑤ 不登校対策 市は市教育委員会及び青少年育成センター、また各小中学校が熱心に不登校児童生徒に對してのケアをしている。不登校になる理由は単純ではなく、複合的な要因によるケースが多く、また保護者に對してのケアを含めたご努力に感謝するところである。 全ての子どもが自立して個人として豊かな人生を送るための支援策として以下伺う。 (1)メタバース空間を活用したオンライン不登校支援プログラムの活用 (2)空き教室や学校外の施設又は空きスペースの更なる活用 (3)不登校児童生徒に對する体験学習の拡充の検討 (4)オンライン授業配信「エデュオブちば」の活用状況

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	7. 福祉施策の増 進	① 四街道市地域包括支援センター運営等協議会において出された諸課題に対しての検討及び取り組み状況はいかがか伺う。 ② 広く福祉関係の人員は、構造的に相手方の要請する時間に合わせる必要をはじめ、長時間勤務を前提とした状況となっている。職員負担の軽減に資するシステム導入又は人員の拡充の検討状況はいかがか伺う。 ③ 要介護認定の調査システムを更新又は例えば訪問調査モバイル V2 の導入、又はサポート人員の配置で、負担軽減及び寄り添う対応に一層時間を設ける事ができるのではと考えるが市の見解はいかがか伺う。 ④ NPO 法人日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会が提唱している加齢により聴覚機能が衰え、フレイル状態に陥ってしまっている状態のことを、ヒアリングフレイルという。 「難聴高齢者の早期発見・早期介入等に向けた取組実施のための手引き」における取り組み事例も参考に、当市でも聴こえに関するチェック体制及び啓発活動の充実を行う必要があると考えるがいかがか伺う。 ⑤ 視覚障害者総合支援センターちばとの連携状況及び市の視覚に障がいのある方に対する取り組みについて伺う。
		8. 熱中症対策	熱中症の3要素として環境、からだ、行動があるといわれている。 市も予防啓発の情報を発信しているところである。 しかし、熱中症を引き起こす条件のうち、28度以上の気温とされているが、この夏は夜も続いた状況であり、市として一層の取り組みを講じる必要があると考え以下伺う。 ① 市としての熱中症対策としての取り組み状況及び今後の検討事項はないか。 ② 市と協定を結んでいる大塚製薬株式会社の自販機を避難所にもなる市内学校又はその周辺への設置検討についていかがか。
		9. ふるさとまつり	8月23、24日に行った四街道市最大のイベントである第34回四街道ふるさとまつりの実施について、事前の準備及び当日を含め所感を伺う。

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	10. 平和事業	① 戦後80年となる節目の年であるが、核兵器廃絶平和都市宣言をしている本市での取り組み状況を伺う。 ② 生徒派遣事業での広島、長崎は継続する予定で、他の施設や地域での実施は行わないか伺う。
		11. 家屋の解体時における騒音・粉塵	家屋の解体において、養生シートなしの解体工事については違法性はなく、あくまで事業者による安全対策の一環として行われるものであり、任意で行われているものである。 市内において、一部の解体工事において騒音や、シートがなく粉塵が飛散している。工事関係車両は県外ナンバーでありどうすればよいか、との連絡を受けるが、市に対して同様の意見がなされているか伺う。
		12. 企業誘致	① 本市で企業誘致に関して予算化及び事務執行が行われている点について、高く評価するところである。しかし、言うは易く行うは難しでもあり、苦慮している点もあろうかと思うが、現状の取り組み状況を伺う。 ② 面積要件の設定について、検討の余地があると思うがいかがか伺う。
		13. 公民連携	市では民間事業者、大学、団体との緊密な相互連携と協働によって市民サービスの向上を図り、地域の活性化に向けて、公民連携を推進している。そこで、現状ある公民連携、包括連携の状況を伺う。
		14. 災害関連死ゼロを目指して	本市の災害対策における更なる拡充に向けて以下伺う。 ① 災害対策基本法及び災害救助法の改正に伴う本市での取り組み状況を伺う。 ② 「防災さんぽ」、又は「ひなんさんぽ」といった取り組みについて、本市でも市民又は自主防災組織といった関係団体に伝達することによる効果はあると思うがいかがか。 ③ メリットだけではなくデメリットもあるが、「非常用応急給水栓」の導入検討についていかがか。 ④ 取り組みや到達の見える化を図ることで、市の防災関係の取り組みの見える化、自宅待機者又は自主避難者への支援の見える化を図ることについて、市の見解はいかがか。

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き		⑤ 災害弱者の安全確保 (1)避難所、福祉避難所の体制整備の充実に向けた検討状況 (2)要支援者の避難計画作成の進捗状況 (3)学童保育の防災・防犯マニュアルの作成状況と避難訓練の実施状況
9/10 (水)	チャレンジみらい 岸本潤一郎	1. 次期クリーンセンター立地場所の見直しについて	次期クリーンセンター予定地吉岡の汚染残土処理費は6月議会でも質問しましたが、明確な回答は頂けておりません。 汚染土撤去に最小で40億円、全部で100億円、最終処分地も決まっておらず、汚染土の無害化処理の可能性もあると伺っており、吉岡汚染土問題は解決の目処が立っていません。 360億円の市の一般会計予算規模で、汚染土対策に40億も100億も費やすのは税の無駄ではないでしょうか。 更に吉岡では、市が上水に使う地下水脈の上に汚染水の滞留層があり、汚染残土は全部取りきれないため、クリーンセンター建設時の岩盤迄の杭打ちは汚染水を地下水脈へ流入させ地下水を汚染するリスクもあります。 また、市は以前、次期施設開業を14年後と説明されましたが、これにより現在の老朽施設に億単位の大規模補修費が必要となります。 そこで伺います。 ① 莫大な汚染土処理費、地下水汚染リスク、現在の老朽化したゴミ処理施設への多額な延命補修費が必要、と大きなデメリットがあるにも拘らず、現在でもなお、吉岡を次期クリーンセンター用地とする理由は何か説明願います。 ② 汚染残土対策は吉岡地区の皆様のために必須です。しかし取り除くだけが方法でしょうか。吉岡の用途を見直せば、経産省が推奨する汚染土の封印方式で、地表・地下水への影響を防止する方法もあり、汚染土対策費用を大幅に削減できます。市はこの様な別の方法は調査されたか伺います。

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き		③ 市は財源も厳しく高齢化も進む中、財政健全化と経済活性化のために、働き手世代の移住を促進する、魅力ある街づくりが重要課題です。吉岡の用途を見直し、早期に次期クリーンセンターを現行施設の横に建設すれば、温水プールや鹿島荘のリニューアルと周囲の公園化でみそらや吉岡、全四街道市民の憩いの場とすることができます。これは市民の福利厚生向上と、市への移住を促進する市の魅力アップにもつながります。 過去に新ゴミ施設建設をみそら自治会は反対しました。しかし今では、他市の最新クリーンセンターを勉強し、現在の場所で最新技術によるクリーンセンターの建替えと地域の再開発を希望しています。みそら自治会総会でこのことを決議し、4月に市に報告しています。 そこで、次期クリーンセンター立地場所を抜本的に見直し、現在のクリーンセンターの隣接地を検討することが、多くの市民のためになると考えますが、市の考えを伺います。
		2. 最新技術による新クリーンセンターを核とした地域再開発とプロジェクト費用の大幅削減について	まずプロジェクト費用です。 吉岡単独で27年稼働621億、42年稼働806億、吉岡広域で20年稼働524億、35年稼働663億という以前の市の概算費用の説明は、莫大な額にも拘らず内訳が示されていません。莫大な費用には新設備の建設費に加え、市が防げなかった汚染残土の処理費用、計画遅れによる現行老朽設備の延命費用が含まれています。 汚染残土は前市長時代の負の遺産です。これを引き継いだ鈴木市政はご苦労多いと思います。しかし新市政になって既に4年目です。そこでクリーンセンタープロジェクト費用の内訳検討や大幅削減検討はどうなっているか、順次伺います。

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き		① 10年以上も前の今の計画では莫大な費用が発生し、市の財政を圧迫し、市民サービスの低下につながります。この10年でゴミ処理技術は飛躍的に進化し、みそら住民の考えも、クリーンセンター誘致による地域再開発へと大きく変化しました。今、市がなすべき事は、将来の出費が最小となり、四街道全市民の福利厚生に役立つプランへの抜本的見直しではないでしょうか。6月議会では市に最新状況を踏まえてプランを見直す意思が全く見えなかったことは非常に残念です。そこで改めて伺います。 (1)次期クリーンセンター稼働は2023年には14年後との市の説明でしたが、14年間の市の作業工程表、つまり、いつまでに何をやるかの具体的な計画、新設備着工時期と竣工時期予定を説明願います。 (2)次期クリーンセンターのプロジェクト費用内訳を、建設費、汚染残土処理費、新設備稼働までの現行老朽設備の補修費、の3つの区分で説明願います。 (3)次期クリーンセンター建設費の複数案を比較できる様、単独、広域別に、建設費とその内訳、焼却炉・排熱回収・ゴミ発電、ゴミ処理施設の試算で標準的な20年間の運転費用(運転委託費、年間通常メンテ費、期間中大型メンテ費)を説明願います。 (4)ゴミ処理施設は、一般的に約20年が耐用年数と言われます。しかし、四街道市のゴミ処理施設は既に33年も経過しているのに、汚染残土問題や広域化での他市との調整で更に10年以上動かす計画と伺いました。これでは50年近い稼働となり他に例を見ない超老朽化施設となります。35年前の古い技術で、ゴミ発電もなく廃熱回収効率も低い施設に多額の補修費をかけ、更に10年以上も動かすのは効率的と言えるのでしょうか。新施設稼働時期を前倒し、現行設備の延命のための補修費を大幅に抑える対策を伺います。

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き		(5)ゴミ処理施設新設は、設計と環境アセスメントに1年、建設に3年かかるのが標準です。現行施設の裏に建設を決めれば、最短約5年で新施設は建設可能で、現在の老朽化設備の延命補修費を大幅削減でき、鹿島荘や温水プールの存続も可能です。費用を大幅に削減ができ、市民の福利厚生の上にもつながるこの方法を選択しないとすれば、その理由を説明願います。 (6)視察した武蔵野市のクリーンセンターは能力120tで建屋、焼却炉、排熱回収・ゴミ発電・粗大ゴミ解体設備も含め建設費は100億。運転委託費は20年間で人件費・光熱費・メンテナンス費も含め122億。つまり建屋・設備・20年間の運転費も含め222億円です。これは当市の20年稼働の場合の約500億円と比べるとかけ離れて少ないと言えます。当市の予算は、従来方式の吉岡汚染残土処理費と、現行老朽設備の10年以上の延命補修費で大きく膨らんでいます。そこでクリーンセンタープロジェクト費用をミニマム化し、10年先の市の財政圧迫の回避のためにも、改めて現在地での早期の建替えについて市の考えを伺います。 ② 次に次期クリーンセンターをどのように地域再開発と市民の福利厚生の上、更に働き手世代の移住促進につながる四街道市の魅力度アップに活かしていくか、以下伺います。 (1)近年全国のクリーンセンターは、排熱回収とゴミ発電を公共施設の電力・空調、温水プールや温浴施設に活用し、省エネと市民向けの福利厚生に最大限活用しています。今やクリーンセンターは地域再開発も含む総合計画として検討するのが常識となっておりますが、当市の計画はこの点が不明確です。どのように新クリーンセンターを地域再開発に繋げることを考えているか伺います。 (2)武蔵野市以外にもクリーンセンターを街おこし、福利厚生強化、防災強化、光熱費及びCO2削減に活用している自治体は多数ありますが、市は当市への参考とすべくベンチマーク調査をおこなったか伺います。

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	3. 衰退する四街道 市の農業の新たな農業振興政策 について	(3)委員会で視察した穂高クリーンセンター、ちくま環境エネルギーセンター、武蔵野クリーンセンターの、クリーンセンターを核にした地域再開発と比較すると、10年以上も前の当市の計画は、莫大な費用で市財政を圧迫するだけでなく、市営温水プールや、百人以上が集まる敬老会や市民サークルが利用する鹿島荘も廃止するという、市民の福利厚生に逆行する計画であると考えます。 今や、最新のクリーンセンター事情を学んだみそら自治会は現在地へのクリーンセンター誘致へ方針転換しました。 市にとってはこれを好機と捉え、今一度立ち止まって頂けませんか。今が方針見直しの最後のチャンスです。市は、大幅な費用削減と市民の福利厚生の向上、更に働き手世代の四街道市への移住促進にも繋がる市の魅力度アップのためにも、次期クリーンセンターの現在の計画を、抜本的に見直すべきであると考えますので、市の考えを伺います。 6月議会では、当市の農業が2010年から2020年で農地面積10%減、農業人口60%減、農業人口平均年齢は11歳高齢化し70歳となっていることや、耕作放棄地がヤードの温床になっている深刻な状況を伺いました。 東京という大消費地に隣接し、米の需要が高まる中、農業は大きなビジネスチャンスです。市の産業振興と税収増、食料安全保障上も重要です。私も他市の成功事例や当市の農業振興モデル地区の調査も行っています。 そこで伺います。 ① 農業人口の大幅な減少と高齢化のため、農業振興には、農地の大規模化による機械化が不可欠であり圃場整備が必須です。圃場整備の県の補助金活用は私も調査しており、市と地域農業者の方と印旛農業事務所との協議にも参加しました。圃場整備を農業生産拡大、耕作放棄地削減、農業活性化につなげる市の具体的な計画を伺います。

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	4. 市民サービスと 働き方改革の 両立について	② 革新的農業経営にチャレンジする少数の農家さんもありますが、全体では市の農業は衰退傾向です。この現状を打開し農業活性化に繋げるために、四街道の特産物開発や、6次産業化、つまり農業を生産から販売、加工まで繋げる様な新たな政策を伺います。 ③ 農業人口が10年間で60%も減少し、平均年齢が70歳となり、このままでは市の農業の衰退が加速します。市の新規就農者を増やす対策と、今後の拡大を目指す農業人口と農地面積の目標数値を伺います。 開庁時間短縮が市政だよりで告知されましたが、詳細を見ると市民サービスに加え市民の安全確保に懸念があります。そこで市役所の働き方改革と市民サービス・市民の安全を両立させるために伺います。 ① 開庁時間短縮の告知のあと、市民からの苦情はあったか伺います。 ② 市民利用頻度の高い窓口トップ3や、混雑する曜日、時間帯の分析は実施されましたか。されていればその分析結果を伺います。 ③ 開庁時間短縮と、緊急時は代表電話となりますが電話取次時間の短縮は一律全部署です。しかし、危機管理室や消防本部、学校安全に関わる教育委員会での短縮は、市民や子供達の安全確保への影響が心配されます。 また、9時から16時半の開庁時間はリタイア世代には影響は少ないですが、休みが取りにくい通勤世代・共働き世帯、非正規雇用の方には市民サービスの低下となります。高齢化が進む当市は、税収確保のため働き手世代の人口増が重要課題ですが、今回の施策は共働きの多い若い働き手世代の移住促進へのマイナス影響も懸念されます。 そこで、市民の安全に関わる部署や、特に利用頻度の高い窓口に絞り、シフト制やフレックス制の導入で職員負担を抑えつつ、従来の開庁時間は考えられないか伺います。
	チャレンジみ らい 六田喜彦	1. 倒木リスクの高い樹木への対応について 2. 資源物収集業務について	① 市民からの倒木リスクの高い樹木についての相談件数を伺います ① 資源物収集業務の受託業者名を伺います

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	3. 猛暑対策について 4. JR 四街道駅エスカレーターの利用者の安全確保について 5. 自転車等駐車場の対応について 6. 市債・基金の状況について 7. 身体障がい者向け通所施設の現状について 8. 四街道ふるさとまつりでの運営従事について 9. 外国人の国民健康保険税と国民年金保険料の納付状況について 10. 技能五輪の入賞者について	① 市内給水スポットの利用状況を伺います ② クーリングシェルターの利用状況を伺います ③ 外出困難な高齢者への猛暑対策を伺います ① JR 四街道駅自由通路のエスカレーターでの事故やトラブルの発生状況を伺います ① 6 月定例会において自転車等駐車場の指定管理者による条例違反を指摘いたしました。定例会以降の指定管理者の対応を伺います ① 今年度の市債の発行状況を伺います ② 基金の運用の取り組み状況を伺います ① 市内の身体障がい者向けの通所施設の施設数を伺います ① 参加団体からの運営従事の人数を把握しているか伺います ① 令和6年度の国民健康保険税の納付状況を把握しているか伺います ② 令和6年度の国民年金保険料の納付状況を把握しているか伺います ① 市内の建築技術専門校に所属する訓練生が技能五輪において毎年優秀な成績を収めている。本市としてこの実績を市のイメージ向上に活用することができないか伺います
9/11 (木)	いぶき 飯豊明久	1. 補助金の返還について 2. 当市の教育環境について	① 4 月 15 日、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金にかかる返還金遅延が発生した。令和6年度の高齢・障害・社会福祉関係で国や県からの補助金で返還しなければならない事業があるのか伺う。 ① 全国で教員による児童生徒への不適切な関わりが問題となっている。当市における児童生徒を守る取り組みと、服務規律確保の徹底はされているのか伺う。 ② スクールロイヤー導入の検討状況について伺う。 ③ 市内放課後等デイサービスについて、利用を希望する保護者からの問い合わせ状況とその対応方法について伺う。

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	3. 戦後 80 年、核兵器廃絶平和都市宣言として何か市民に対して啓発・周知した取り組みについて 4. 心の健康をサポートする取り組みについて 5. 参議院議員選挙について 6. 特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」への対策状況について 7. 市役所の開庁時間の変更について 8. 市内防犯対策について	① 今年で戦後 80 年となりました。世界で唯一の被爆国である日本、そして核兵器廃絶平和都市宣言都市としてこの夏、市民に対してどのような周知・啓発を行われたのか伺う。 ① 子どもたちの精神的幸福度向上についての取り組み状況のうちひとり親家庭支援、貧困対策の現況について伺う。 ② 妊産婦の心の健康サポート状況について伺う。 ① 7 月に参議院議員選挙が行われた。市内における投票率向上にむけた取り組みを伺う。 ② 四街道市文化センターでの期日前投票について、先の衆議院議員選挙において高齢者の方から、駐車場から期日前投票所が遠い、段差が多い、階段の手すりが利用しづらいといった意見が聞かれていたが参議院議員選挙期間中においてどのような配慮がなされていたのか伺う。 ③ 投票用紙の二重交付、存在しない立候補者名の誤記載、無効票の水増し、各地で選挙事務のミスが相次いだ但当市ではそのようなミスはなかったのか伺う。 ① 県内において特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」が、河川・用水路を介して県内で発生区域が拡大している。当市での対策状況について伺う。 ① 令和 7 年 10 月 1 日より市役所の開庁時間が変更されます。市民サービスの低下につながらないか伺う。 ① 7 月、四街道総合公園内において自動販売機が破壊されていた。経緯と今後の対策について伺う。

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	新時代 石井幸夫	1. 住みたくなる街 に向けて	① 本市の健康寿命向上策の取組状況について伺う。 ② 特定健康診査受診率の過去5年間の推移について伺う。 ③ 短期人間ドック受診率の過去5年間の推移について伺う。 ④ 医療ビッグデータを活かした取組をしているか伺う。 ⑤ 国民健康保険税徴収率の過去5年間の推移について伺う。 ⑥ 今までの紙やプラスチックの保険証は、今年の12月で終わりマイナ保険証が基本となる。医療機関利用時にトラブル無きよう周知徹底されているか伺う。 ⑦ スマートフォンのマイナ保険証が今年9月から開始されるが、医療機関の受入れ体制について把握しているか伺う。 ⑧ 育児と介護を並行して担うダブルケアは、少子高齢化や晩婚化を背景に問題視されている。本市ではどのように対応しているか伺う。 ⑨ ふくしの総合相談窓口を7月より設置した。相談件数とどのような相談内容があったか伺う。
		2. 多文化共生について	① 日本の人口は15年連続で減少し、日本人は前年比90万人減少した。外国人居住者は376万人で前年比35万人と11%増加し、外国人の割合が増加している。本市においても同様であり、現状を捉え多文化共生社会の推進が重要である。どのような施策をどのようなスケジュールで取組んでいるか伺う。 ② 過去5年間の在留資格別の人口と増加数及び増加率について伺う。 ③ 過去5年間の外国人の住民税徴収率について伺う。 ④ 過去5年間の外国人の国民健康保険税徴収率について伺う。
		3. 小学校統廃合について	① 少子化による小学校の統廃合について見解を伺う。

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	4. 安全対策について	① リチウムイオン電池はモバイルバッテリーや加熱式たばこといった身近な携帯型の電子機器に多く使われており、捨てる人はどのような物にリチウムイオン電池が使われているか、わからなく不燃ごみとして廃棄してしまい火災が急増している。常総環境センターの火災では復旧工事に40億円もの費用見通しです。このような状況を踏まえ本市の対策について伺う。 ② 過去2年間の熱中症による搬送者数について伺う。 ③ 市民の熱中症対策について伺う。
9/12 (金)	チャレンジみらい 森本次郎	1. 施政概要について 2. 全ての人に選ばれる街に	① ヤード対策の現状 ② 民有地の空地対策の現状 ③ 企業・官公庁・国際機関の誘致の取り組み状況 ④ 保育の質向上の取り組み状況 ⑤ 文化センター改修の検討状況 ⑥ 小学校統廃合の検討状況 ⑦ 消防本部移転の検討状況 ⑧ 小中学校の体育館エアコン整備の検討状況 ⑨ 次期ごみ処理施設整備事業の進捗と汚染残土問題の現状 ⑩ ふるさと納税の抜本的強化に向けた対応 ⑪ 庁舎の開庁時間変更に向けた取り組み状況 ⑫ 職場環境の改善や職員の意識改革に向けた取り組み状況 ⑬ 成田空港機能強化を活用した税収増の取り組み状況
	新時代 ふじわら ちかこ	1. 外国人の生活保護について	① 四街道市が外国人に生活保護費を支給している法的・制度的な根拠について伺います。 ② 現在四街道市で生活保護を受けている外国人は何名で、生活保護費の年間総額はいくらかになるのか伺います。 ③ 外国人の生活保護費について支給を継続することで市民生活の安定と公平性につながるのか、市の見解を伺います。

月 日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	2. 子ども食堂について 3. 美しが丘調整池について	① 子ども食堂の運営について国や千葉県の補助制度があることは承知しております。しかし、市内では公共施設の利用料の負担が大きいとの声も寄せられており、既存の制度があることに満足するのではなく、実態に即した支援が必要と考えるが、市の見解を伺います。 ② 子ども食堂を子どもたちにとって安心できる居場所としてより機能させていくために、子どもたちに安心して足を運んでもらえるような工夫や市としての支援の仕組みについて、どのようなお考えか伺います。 ① 美しが丘調整池について、景観に配慮した整備や美化のための予算を計上すべきと考えますが、市がこれまで予算を出していない理由を伺います。
	公明党 田中徳彦	1. 歴史民俗資料施設整備について 2. 無電柱化の取り組みについて	① 学校教育の中で、市内で発掘された遺跡出土品を活かす考えがあるのか伺う。 ② 整備計画のある歴史民俗資料施設の中で、市内で発掘された遺跡出土品を展示する考えがあるのか伺う。 ③ 歴史民俗資料施設の整備概要について伺う。 ④ 観光資源の乏しい本市として遺跡出土品を活用することにより、市内外に本市の歴史が周知され、本市に対する評価が向上するものと思われるが、市の考えは如何か伺う。 ⑤ 近年、臨床心理士やカウンセラーの方から、埋蔵文化財に引きこもりや不登校の人が触れることで、社会的参加の促進や学校生活への復帰支援に効果があると聞き及んでいます。本市として大きな問題である引きこもりや不登校の対応策として活用する考えがあるのか伺う。又、本市で発掘された埋蔵文化財 2572箱は千葉県が保管しているので、活用できると思うが如何か伺う。 ① 市内で無電柱化となっている場所を伺う。又、その場所を無電柱化した理由も伺う。 ② 千葉県は令和元年度から令和10年度までの10年間を計画期間とし、緊急輸送道路や防災拠点周辺、景観形成区域、世界文化遺産周辺といった約83kmを重点的に無電柱化することを目標としている。市の整備状況を伺う。

月 日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	3. 外国人政策について 4. 車内の安全について 5. ポイ捨て、不法投棄について	① 外国人住民の転入手続きに関するサポート体制について伺う。 ② 市内在住の外国人が県営住宅に住んだ場合、県と市の事務分担はどのようなになっているのか伺う。 ① 市内における車内閉じ込め事故による緊急対応状況について伺う。 ① 市では改善されるように動いているが、ポイ捨てと不法投棄について、取り組み状況を伺う。
9/16 (火)	公明党 大谷満子	1. 子育てに寄り添う四街道市 2. 災害に強い四街道市を目指し 3. 子供たちの地域ボランティア 4. 公共施設の有意義な活用	① 令和7年度から開始された「四街道市こども計画」の短期入所生活援助の課題について伺う ② 千葉県里親制度の周知方法について伺う ③ 不妊治療への市の助成金の考えについて伺う ① キッチンカーと併用し学校給食調理場の炊き出しが可能か伺う ② 本年3月に寄贈された熱圧着機能付き簡易トイレの使い方について伺う ③ 本年10月25日に実施する総合防災訓練の目的と内容について伺う ① 中学校から生徒に対し地域のお祭りの準備、片付けのボランティアの呼びかけが可能か伺う ① 新庁舎のイートインコーナーへの障がい者施設が運営するお食事処の設置が可能か伺う
	いぶき 大越登美子	1. 吉岡・鷹の台地区の課題解決に向けて 2. 消防行政 3. 財政運営	① 旭中学校自転車通学路における環境整備 (1)道路整備の進捗状況 (2)吉岡区入口付近の森林整備の必要性の考え方 ② 公共用地の利活用 (1)市の方針と地元自治会との話し合いの内容について ① 消防署庁舎建設に向けて (1)検討委員会の進捗状況 (2)重要課題である財源確保について (3)PFI事業の導入の検討について ① 都市計画道路3・3・1号山梨臼井線2工区の進捗状況 ② 企業誘致の現状と今後のスケジュールについて

月 日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	4. ふくしのまち、 四街道へ	① 健康とくらしの調査結果と今後の事業への反映について ② 週いち貯筋体操の実施状況と課題 ③ 不登校児童生徒の居場所 (1)学校以外の場所で過ごす子どもたちの現状と課題 (2)フリースクールの必要性和支援体制の構築について ④ 視覚障がい者に寄り添う取り組み (1)中途視覚障がい者を含む市内在住者の現状 (2)特別支援学級の現状と課題 (3)道路への点字ブロック設置状況、音響式信号機の設置要望について
	政 まつりごと 芝崎剛介	1. イベントに対する公人の寄附について	① 7月26日に開催されたみそら祭りの芳名板に「四街道市長 鈴木陽介」と記載があったが、これは市長交際費から支出したものか。また、交際費からの支出である場合、どのような支出基準に基づくものか。 ② 同芳名板には複数の市議会議員の氏名も記載されていた。議員による選挙区内の人や団体への寄附は禁止されていると認識しているが、そのような疑いのある行為が確認された場合、市の選挙管理委員会としてどのような対応をとっているのか。
9/17 (水)	チャレンジみ らい 坂本弘毅	1. 四街道の未来に向けて	① 行財政改革の取り組み状況と今後の課題はなにか。 ② 第6次定員適正化計画においての成果と見えてきた課題はあるか。 ③ 公共施設再配置計画について計画の位置づけや計画シートの方角性について常日頃から議論はされているか。 ④ ネーミングライツ事業は歳入確保のためにも有効な施策であるが積極的に取り組んでいるか。 ⑤ ふるさと納税について抜本的な取り組みをしていかなければ何も変化が起こらないと思うがどのように考えながら今後進めていくのか。 ⑥ 企業誘致に向け取り組み状況はどうなっているか。

月 日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	2. 四街道の重要課題について	① 次期ごみ処理施設建設に向け進捗状況はどうなっているか。 ② 消防本部の老朽化が深刻な状況だが早期建て替えについて積極的な議論はされているか。 ③ 新庁舎建設の進捗状況と売店や ATM 設置の実現に向け粘り強く取り組んでいるか。
		3. 選ばれる四街道を目指して	① 合計特殊出生率の推移と更なる向上に向け取り組んでいることはあるか。 ② 子ども医療費助成制度の現況と懸念されているような課題はあるか。 ③ 交通利便性向上に向け市内交通事業者や JR に対してどのような協議や要望活動を行っているか。 ④ 空き家の現況と市内において空き家を積極的に利活用する事業は行われているか。 ⑤ 市営住宅の入居率向上に向けた取り組みと今後の老朽化対策についてどのように考えながら進めていくか。
		4. 四街道の子どもたちの未来のために	① 小中学校での特別教室のエアコン設置率と未設置の教室への対応として今後どのように取り組んでいく考えでいるのか。 ② 通学路の安全対策の現況と今後の課題はなにか。 ③ 全国的に児童の泳力低下が懸念されているが本市の現況とプール授業のあり方について市としてどのような見解を抱いているのか。
	阿部百合子	1. 水道料金の減免について	① たくさん水を使う市内事業者（パーマ屋・そば屋・豆腐屋・クリーニング屋・病院・介護施設）に対して、経営への影響について、アンケートをして実態をつかんで頂きたい、いかがか。 ② 市民から水道料金の値上げに対して、意見が出ているか、お聞きする。

月 日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	2. 災害的猛暑について	① 小中学校体育館のエアコン設置を急ぐべきと思うが、いかがか。 ② 生活保護費の夏加算を国に要望を出して頂きたい。電気代が怖くてエアコンがあってもつけられない人がいる、いかがか。 ③ 生活保護を受けている人で、2018 年 3 月 31 日以前に保護を決定した人には、エアコン購入費や取り付け費は出していない。現在どのような対応になっているのか、お聞きする。 ④ 非課税世帯のエアコン購入費補助はどうなっているのか、お聞きする。 ⑤ 学校給食共同調理場にエアコンは設置されているのか、お聞きする。 ⑥ ごみ収集の委託業者スタッフへの猛暑に対応する制服の支給指導はなされているのか、お聞きする。
		3. 介護保険制度について	① 昨年の 4 月からこの 1 年で、市内介護事業所の数はどう変化しているのか、お聞きする。 ② 「介護報酬の引き下げやめよ、引きあげよ」と国にむけての意見書が、令和 7 年 3 月定例会において全会一致で市議会から出されている。国が動くまでも市内介護事業所を守る立場で、緊急支援を実施する用意はないか、お聞きする。
		4. 子育て支援について	① 学校給食費の無償化を完全実施する用意はないか、お聞きする。 ② 就学援助制度の対象者に対して、修学旅行費の積立金徴収をやめる考えはないか、お聞きする。 ③ 高校生の医療費は、毎回窓口に行くたびに 300 円が必要。この 300 円部分をなくして完全無料化にならないか、お聞きする。 ④ こども誰でも通園制度について、該当事業所との協議は現在、どこまで進んでいるのか、お聞きする。 ⑤ 不登校児童生徒支援として、フリースクールの保護者負担軽減支援やスクールカウンセラーの拡充は、考えていないか、お聞きする。

月日	議員氏名	質問事項	質問要旨
	前頁から 引き続き	5. 文化センター大規模改修工事計画について 6. 防災・減災について	① 改修計画に係るパブリックコメントの内容に対し、市の考えを修正した点、修正しなかった点の概要を、お聞きする。 ② 飲食ができるスペースの確保はどうなったのか、お聞きする。 ③ 3階に「多目的スタジオ」を3か所設置する構想とのことだが、それぞれの定員および常設ピアノがあるのか、お聞きする。 ④ いつまで期日前投票の会場とするのか、お聞きする。 ① 「要配慮者」への避難対応の方法について、どこまで進んでいるのか、お聞きする。 ② 減災の立場から、「家具転倒防止金具（器具）取り付け工事助成制度」を創設することを考えていないか、お聞きする。
	公明党 西塚義尊	1. 初期認知症の支援 2. 環境保全 3. 小中学校のエアコン 4. がん検診受診歴の自治体把握 5. こどもの居場所づくり	① 認知症初期集中支援チームの取り組み内容とその成果を把握しているか伺う ② リンクワーカーの養成について市の考えを伺う ① 飲食店から排出される廃棄物の処理のルールについて伺う ② 環境省環境再生・資源循環局長通知（令和 6 年 9 月 30 日）『一般廃棄物処理業務における「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」等を踏まえた対応について（通知）』について市の対応を伺う ③ 浄化槽設置台帳の整備状況について伺う ① 特別教室へのエアコン設置について現況と今後の計画を伺う ② 体育館へのエアコン設置について課題を伺う ① 市民のがん検診受診歴把握について取り組みの方向性と課題を伺う ① 青少年育成センターのオープンスペースについて移転後の計画を伺う ② ボランティア団体への市からの支援内容を伺う ③ こども食堂への市からの支援内容について伺う